



“今日はどうもありがとうございました” “これからも続けたいと思っているんですよ。いつでも相談に来てくださいね”



民生委員は、この日のためにと練習した“とっておきの芸”をひろう。



“なじらね、変わらないかね” 民生委員をやって十年という長場の阿部政義さん、月二、三回はお年寄りを訪問。

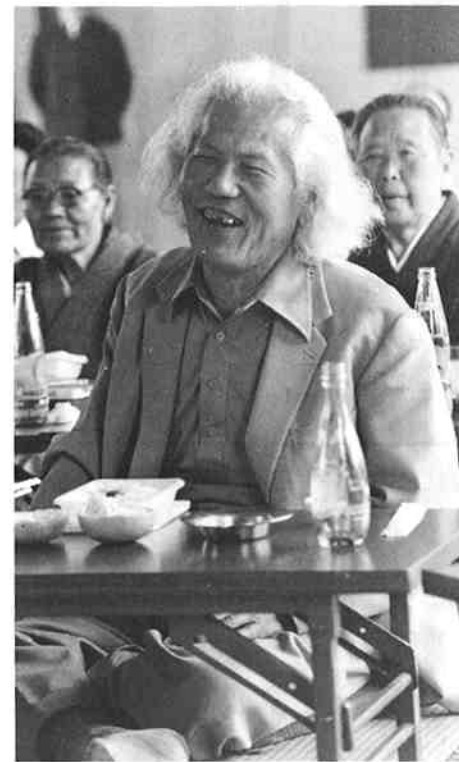
※民生委員とは……福祉に欠ける住民の保護指導に当たり、社会福祉の増進に努めている人たちです。具体的な仕事としては、老人世帯、寝たきり老人、ひとり暮らし老人などの生活状態を把握し、市の社会福祉事務所に報告したり、心配ごと相談の相談業務などがあります。

民生委員は、都道府県知事の推せんによって厚生大臣が委嘱し、任期は三年です。また民生委員は、児童の健全育成を図るための児童委員も兼ねています。  
※市内の民生委員数……五十五人（男二十八人、女二十七人）



浦木の蟻浪さんは、天気の良いと家のまわりの畑で一仕事。

# 元気でい カメラルポ います



“やあ、上手なもんだねえ”ひとり暮らしといつても、暗さは全く見られません。

一〇八人——これは市内にいる六十五歳以上のひとり暮らし老人の数です（四月一日現在）このお年寄りたちを励まそうと五月二十二日、長浦出張所で「長浦地区ひとり暮らし老人慰問会」が開かれました。これは、地区の民生委員協議会（佐野富美枝総務）が主催して行ったもので、八人のひとり暮らし老人が出席しました。慰問会のようにすを中心に、お年寄りたちの生活取材しました。